

特集：クリーンパワー事業の取り組み

■“クリーンパワー事業”をコア事業化へ

中期経営計画「Dash 25」(2016年度～2018年度)では基本方針のひとつとして、「創」エネ・「活」エネ分野を中心としたグローバル展開加速により、クリーンパワー事業を新たな事業の柱へ成長させることを目標としています。

具体的な取り組み

太陽光発電用パワーコンディショナ

2014年度に買収したソレクトリア社^{※2}が有する高い技術力と強固な顧客基盤を生かし、グローバルに展開できる新製品開発とその拡販を進めます。

※2: 太陽光発電用パワーコンディショナを製造・販売する米国の会社

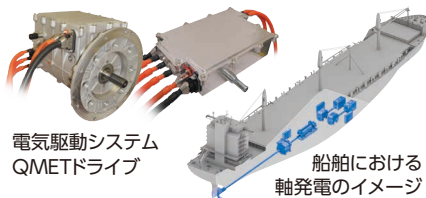


太陽光発電用パワーコンディショナ

電気駆動システム

EV(電気自動車)向け電気駆動システムにおいて、市場成長が著しい中国市場を攻略します。2016年4月、9月に関連企業との資本提携を行っています。(P.10、12参照)。

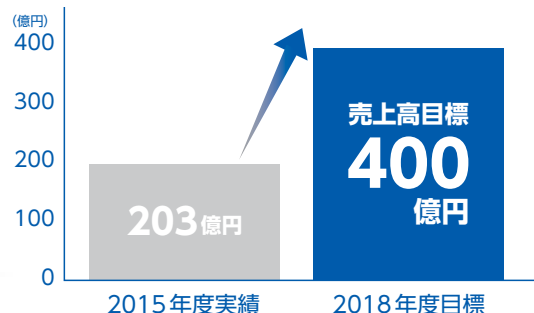
また、風力発電技術などを船舶分野に応用させ、軸発電や電気推進などの製品開発を通じ、船舶システム分野での事業拡大を図っていきます。



電気駆動システム
QMETドライブ

船舶における
軸発電のイメージ

新規事業領域^{※1}の売上高目標

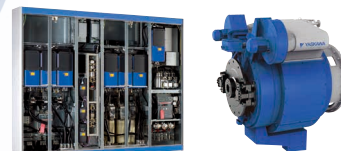


※1: 新規事業領域は、クリーンパワー事業とヒューマトロニクス事業から構成されています

大型風力発電用電機品

2014年度に買収したスイッチ社^{※3}とのシナジーを最大化させ、製品内製化率の向上や、新規顧客開拓などの積極的な営業活動を行い、欧州・中国などを中心に受注を拡大させています。

※3: 大型風力発電用電機品(発電機・コンバータ)を製造・販売するフィンランドの会社



低圧フルコンバータ

低圧充電器

蓄電コンバータ

蓄電用のコンバータを開発し、パワーコンディショナ事業のアプリケーション領域を拡大しています。